

ChatGPTを活用した市民サービスの向上とデータ収集活用

住む 癒す 学ぶ  
動く 楽しむ その他

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

浜通り地域等が今後抱えると思われる課題のイメージとして、国際的な研究者やその家族が移住・定住することにより自治体の人材やサービスの不足、課題の多様化が挙げられると考えられます。言語や文化の違いにより、市民が疑問や困難に直面する場面も増えるでしょう。特に空き地空き家探しは個別的で複雑な問題です。そこでChatGPTを活用することで、**移住・定住・空き家の利活用を支援するとともに、求められる物件の傾向や特徴をデータとして収集し分析することができる**と考えられます。

②提案の概要

私たちは、自治体のサイト内にChatGPTを活用した空き地空き家に関する質問コーナーを設置することを提案いたします。この機能では物件をお探しの方が空き地空き家に関する質問を入力すると、ChatGPTが最適な回答や提案をしてくれます。返答の内容は独自に用意した内容でカスタマイズできるため、求められる物件種類の対応や家主が登録する場面の対応も可能です。これにより課題解決は勿論のこと、**集まったデータをもとに物件ニーズにこたえるための施策を検討することも**できます。さらに浜通り地域への関心や注目も高まることが予想されます。実際、自治体ChatGPTを導入する事例は増えていますが、**一般の方々に開放するものはまだ少なく、珍しい事例**となるはずで**す**。この提案は今後も発展していく可能性を秘めており、子育てや介護といった自治体が抱える地域の課題解決にも繋がると考えられます。



③事業実施に対し必要な要件

自治体等のサイト内にChatGPT技術を導入することに伴う計画と要件定義のご協力  
 (カスタマイズ内容打ち合わせ等)

④想定スケジュール

今年度は要件定義に注力を注ぎ来年度内導入を想定

⑤地元企業等とのマッチング希望

あり  なし

会社名：株式会社URシステムズ